

## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立笠岡商業高等学校		
実践者等	矢部大輔	実践日	令和3年12月1日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	商業・財務会計Ⅰ①		
対象生徒(学年等)	2年		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	財務諸表の見方		
使用したアプリ等	スプレッドシート、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)		
実践の概要(ねらい等)	端末を活用し、EDINETから有価証券報告書を閲覧し、企業の経営状況の良否を判断できる能力を育てる。		
<b>実践の内容</b>			
<p>(1) 前時の復習 財務諸表分析(関係比率法による分析)のうち、流動比率から経営状況の何が分かるかを確認</p> <p>(2) EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)から有価証券報告書を閲覧する方法を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台端末を活用し、EDINETから興味がある企業の貸借対照表、損益計算書を確認させる。</li> </ul> <p>(3) EDINETの操作に慣れるためにゲーム感覚で複数企業の流動比率を分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時からの実習に向けてEDINETの操作に慣れさせるため、複数企業の有価証券報告書を検索し、流動比率分析に必要な流動資産と流動負債の金額を調査させる。 (スプレッドシートに調査結果を入力させる)</li> <li>・15分という時間を設定し、「流動比率が高い企業を探せ」という課題を提示し、多くの企業の有価証券報告書を閲覧させる。</li> </ul> <p>(4) 流動比率の分析から分かったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以内(短期)の支払能力が十分であるかを判断するために用いられる数値で、教科書には200%以上が望ましいと書かれているが、調査した企業の数値がどうなのかを考察させる。</li> <li>・多くの企業が200%に満たないことに気付かせ、それでも経営が成り立っている理由をスプレッドシートに記入させる。</li> </ul> <p>(5) スプレッドシートに記載したことを基にグループで考えをまとめる。</p> <p>(6) 教師によるまとめ、次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務分析を行うと理想値とかけ離れている企業が多いという現実を知らせる。</li> <li>・次時は、EDINETを活用し、安全性分析と収益性分析を行うことを予告し、EDINETで調査したい企業の有価証券報告書を閲覧し決めてくるよう伝える。</li> </ul>			
参考となるHP等	EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) <a href="https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a>		

